



PRESS RELEASE

2016年6月20日

CA Technologies、ガートナー社のITプロジェクト・ポートフォリオ管理 Magic Quadrant レポートにおいて2年連続「リーダー」に位置づけられる

(本資料は、2016年6月16日に米CAが発表した情報の抄訳です)

(2016年6月16日、ニューヨーク発)

CA Technologies(本社:米国ニューヨーク州アイランディア市、CEO:マイケル・グレゴア)は、米大手調査会社ガートナー社の“Magic Quadrant for IT Project and Portfolio Management Software Applications, Worldwide”*のレポートにおいて「リーダー」の位置付けを得たことを発表しました。

同レポートによると、IT PPM ソフトウェアの需要は継続的に増え続けており、2015年の世界市場の伸び率は7.4%、売上高は20億ドルを超えてます。この状況は、市場の自然な変化に加えて、デジタル化によって促進される変化のペースが加速していることが要因です。しかし、デジタル化はIT分野のみに限りません。デジタル化はビジネスであり、サイロを超えて、組織内や組織間に及びます。したがって、ITプロジェクト管理オフィス(PMO)を超えるためにIT PPMソリューションを求める圧力は今後も続くものと予想されます。この圧力が減退するとなれば、それは、これまで無視されてきた分野(マーケティングや、アーキテクチャ、エンジニアリング、構築など)の固有の構成を通じて考える事が妥当です。又はERP、CRM、HR、アプリケーション・ライフサイクル管理(ALM)、その他無数に存在するクラウド・ソリューションなど、他のソリューションへの統合機能を通じて考える事も出来ます。

CA Technologies Agile Management 担当ジェネラル・マネージャ、Angela Tucci 氏

今日のアプリケーション・エコノミーで成功するには、企業は特定の領域を超えてビジネス・インサイトに素早くアクセスする必要があります。それによって、優れた意思決定を行い、市場の変化に即応する事が出来ます。[CA Project & Portfolio Management](#)は、ビジネス投資のポートフォリオ全体に対して戦略とその実行を連携させ、重要なプロジェクト、製品、および財務上のインサイトを組織に提供し、組織がより素早く適応することを可能にします。

CA PPMでは、統合機能(CA Agile Central(旧 Rally)のような、導入後に即利用できるソリューションなど)を経由して得られる多様なプロジェクトやポートフォリオからインサイトを収集することで、アプリケーション・ライフサイクル管理のニーズ、ERPソリューション、増大する RESTful API を備えたその他の多くのアプリケーションをサポートすることができます。CA PPMは、クラウドおよびオンプレミス経由で利用可能であり、戦略的イニシアチブやリソースの優先度を設定するビジネス・リーダーの能力向上を促します。

ガートナー社は同レポートでソフトウェア・ベンダー9社に対して15の基準項目を評価しました。CA Technologiesは「リーダー」クラウドに位置づけられたベンダー3社のうちの1社となりました。

2015年11月にCAは、ガートナー社の「Magic Quadrant for Integrated IT Portfolio Analysis Applications」**でもリーダーの位置付けを得ています。

本レポートの無償コピー入手するには、『[Magic Quadrant for IT Project and Portfolio Management Software Applications, Worldwide](#)』をクリックしてください。

* Gartner, Inc.「Magic Quadrant for IT Project and Portfolio Management Software Applications, Worldwide」
Daniel B. Stang, Robert A. Handler, Teresa Jones 共著。2016年5月24日刊行。

**Gartner, Inc.刊「Magic Quadrant for Integrated IT Portfolio Analysis Applications」、Daniel B. Stang, Jim Guggan 共著。2015年11月30日発行。

ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

CA Technologiesについて

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CAは世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、<www.ca.com>(米 CA Technologies)、<<http://www.ca.com/jp>>(日本)をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japanをご覧ください。

*本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

この件に関する報道機関からのお問合せ先:

CA Technologies
〒102-0093 東京都 千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル9階
コーポレート・コミュニケーション部
TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115
e-mail: CA@pr-tozs.co.jp